

# アンコール遺跡国際学術調査の日程・メンバー

## 第31次、第32次、第33次調査・研究

石澤良昭

### I. 第31次アンコール遺跡調査

1. 調査期間：2000年10月22日～2000年12月31日（71日間）
2. 研究・調査地域：シェムリアップ（バンテアイ・クデイ、アンコール・ワット、アンコール・トムなどアンコール遺跡群およびそれらの周辺地帯、アンコール遺跡群東部地域のタニ村地区、アンコール・ボレイ遺跡）、遠隔五大遺跡（サンボール・プレイ・クック、大プリアカーン、バンテアイ・チュマル、コーケー、ベン・メリア）

### 3. メンバー：

団 長：石澤良昭（上智大学外国語学部教授、歴史・碑文学・調査団総括）

#### （建築関係）

リーダー：片桐正夫（日本大学理工学部教授、建築学・保存科学）

小杉孝行（石材技術指導員、建築学・修復調査）

崔 炳夏（日本大学理工学部研究生、建築学）

三輪 悟（日本大学理工学部研究生、建築学）

高橋正時（日本大学理工学部研究生、建築学）

香川正子（日本大学理工学部研究生、建築学）

片町 健（日本大学理工学部研究生、建築学）

小島陽子（日本大学理工学部研究生、建築学）

荒樋久雄（ルーヴアン大学保存科学センター研究員、建築学・修復調査）

Mao Sokny（建築学、カンボジア人研修生）

Heng Kunthea（建築学、カンボジア人研修生）

Phou Sochea（建築学、カンボジア人研修生）

Sok Vannisay（建築学、カンボジア人研修生）

Am Sophanareth（建築学、カンボジア人研修生）

#### （地質関係）

リーダー：盛合禧夫（東北工業大学工学部教授、地質学）

松村吉康（東北工業大学工学部教授、地質学）

#### （考古関係）

リーダー：菱田哲郎（京都府立大学文学部教授、考古学・発掘指導）

丸井雅子（上智大学アジア文化研究所共同研究員、考古学・発掘補助）

荒樋久雄（ルーヴアン大学保存科学センター研究員、建築学・修復調査）

Som Visoth (考古学、カンボジア人研修生)

Tin Tina (考古学、カンボジア人研修生)

Nuon Mony (考古学、カンボジア人研修生)

(陶磁器関係)

リーダー：青柳洋治 (上智大学外国語学部教授、考古学・発掘指導)

佐々木達夫 (金沢大学文学部教授、考古学・発掘指導)

(カンボジア人工石および学生研修関係)

小杉孝行 (石材技術研修指導員、石工研修)

崔 炳夏 (日本大学理工学部研究生、建築学研修生の研修指導)

丸井雅子 (上智大学アジア文化研究所共同研究員、考古学研修生の研修指導)

Van Narat (カンボジア人工石)

So Sem (カンボジア人工石)

Pourn Ruos (カンボジア人工石)

Uch Chheth (カンボジア人工石)

Sngatt Yuon (カンボジア人工石)

Suong Touch (カンボジア人工石)

Hau Touch (カンボジア人工石)

(事務局)

荒樋久雄 (ルーヴァン大学保存科学センター研究員、建築学・修復調査)

丸井雅子 (上智大学アジア文化研究所共同研究員、考古学)

#### 4. 調査概要

##### (1) 建築班

###### ①西参道解体工事

西参道ラテライト擁壁の解体

版築実験

コンクリート基礎の一部破壊調査

###### ②アンコール遺跡群の調査 (開口部調査)

クメールの石造技術解明のため、アンコール遺跡群の遺跡を対象に継続的に調査を行う

##### (2) 考古班

第30次調査出土遺物の整理作業

##### (3) 人材養成プロジェクト

発掘関係実習・研修、修復実習・研修、環境調査実習、地質調査実習

##### (4) 遠隔五大遺跡調査

#### II. 第32次アンコール遺跡学術調査

1. 調査期間：2001年2月3日～4月15日 (71日間)

2. 研究・調査地域：プノンベン、シェムリアップ（バンテアイ・クダイ、アンコール・ワット、アンコール・トムなどアンコール遺跡群およびそれらの周辺地域。アンコール遺跡群東部地域のルンターエック村地区）

3. メンバー：

団 長：石澤良昭（上智大学外国語学部教授、歴史・碑文学・調査団総括）  
（建築関係）

リーダー：片桐正夫（日本大学理工学部教授、建築学・保存科学）

小杉孝行（石材技術指導員、建築学・修復調査）

三輪 悟（日本大学理工学部研究生、建築学）

高橋正時（日本大学理工学部研究生、建築学）

香川正子（日本大学理工学部研究生、建築学）

片町 健（日本大学理工学部研究生、建築学）

小島陽子（日本大学理工学部生、建築学）

荒樋久雄（ルーヴアン大学保存科学センター研究員、建築学・修復調査）

Mao Sokny（建築学、カンボジア人研修生）

Heng Kunthea（建築学、カンボジア人研修生）

Phou Sochea（建築学、カンボジア人研修生）

Sok Vannisay（建築学、カンボジア人研修生）

Am Sopanareth（建築学、カンボジア人研修生）

（考古関係）

リーダー：上野邦一（奈良女子大学教授、考古学・発掘指導）

宮本康治（大阪市文化財協会調査課調査員、考古学・発掘調査）

丸井雅子（上智大学共同研究員、考古学・発掘補助）

荒樋久雄（ルーヴアン大学保存科学センター研究員、建築学・修復調査）

Som Visoth（考古学、カンボジア人研修生）

Tin Tina（考古学、カンボジア人研修生）

Nuon Mony（考古学、カンボジア人研修生）

（社会文化・村落関係）

遠藤宣雄（上智大学アジア文化研究所共同研究員、遺跡エンジニアリング）

高橋宏明（上智大学アジア文化研究所客員研究員、教育文化調査）

（カンボジア人石工および学生研修関係）

小杉孝行（石材技術研修指導員、石工研修）

三輪 悟（日本大学理工学部研究生、建築学）

宮本康治（大阪市文化財協会調査課調査員、考古学研修生の研修指導）

丸井雅子（上智大学アジア文化研究所共同研究員、考古学研修生の研修指導）

Van Narat（カンボジア人石工）

So Sem（カンボジア人石工）

Pourn Ruos（カンボジア人石工）

Uch Chheth (カンボジア人石工)

Sngatt Yuon (カンボジア人石工)

Suong Touch (カンボジア人石工)

Hau Touch (カンボジア人石工)

(事務局)

荒樋久雄 (ルーヴァン大学保存科学センター研究員、建築学・修復調査)

丸井雅子 (上智大学アジア文化研究所共同研究員、考古学)

田代亜紀子 (上智大学研究員、政策研究)

#### 4. 調査概要

##### (1) 建築班

〈西参道修復工事〉

①西参道ラテライト擁壁平面図の作成

②西参道版築実験土の強度試験

③岩の擦り合わせ実験・砂擦り実験

〈アンコール地域遺跡の開口部調査〉

##### (2) 考古班

バンテアイ・クダイ遺跡内東参道周辺地区D01一帯にかけての発掘

①東参道と北側小祠堂の関係を層位的に検証

##### (3) 地質班

西参道の共振法による地盤工学解析調査

##### (4) 人材養成プロジェクト

発掘関係実習・研修、修復実習・研修、環境調査実習、地質調査実習

### Ⅲ. 第33次アンコール遺跡学術調査

1. 調査期間：2001年8月1日～9月15日 (46日間)

2. 研究・調査地域：プノンベン、シェムリアップ (バンテアイ・クダイ、アンコール・ワット、アンコール・トムなどアンコール遺跡群およびそれらの周辺地帯。アンコール遺跡群東部地域のタニ村地区)

#### 3. メンバー：

団 長：石澤良昭 (上智大学外国語学部教授、歴史・碑文学・調査団総括)

(建築関係)

リーダー：片桐正夫 (日本大学理工学部教授、建築学・保存科学)

小杉孝行 (石材技術指導員、建築学・修復調査)

三輪 悟 (日本大学理工学部研究生、建築学)

高橋正時 (日本大学理工学部研究生、建築学)